

参考資料

水 質 目 標

■別表1 熊本県地下水保全条例第6条第1項の規定に基づく「地下水質保全目標」

	対象化学物質の種類	以下の判定基準値を下回ること
1	カドミウム及びその化合物	1リットルにつきカドミウム0.001ミリグラム
2	シアン化合物	1リットルにつきシアン0.1ミリグラム
3	有機燐化合物(パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びEPNに限る。)	1リットルにつき0.1ミリグラム
4	鉛及びその化合物	1リットルにつき鉛0.005ミリグラム
5	六価クロム化合物	1リットルにつき六価クロム0.04ミリグラム
6	砒素及びその化合物	1リットルにつき砒素0.005ミリグラム
7	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	1リットルにつき水銀0.0005ミリグラム
8	アルキル水銀化合物	1リットルにつきアルキル水銀0.0005ミリグラム
9	PCB	1リットルにつき0.0005ミリグラム
10	トリクロロエチレン	1リットルにつき0.002ミリグラム
11	テトラクロロエチレン	1リットルにつき0.0005ミリグラム
12	1, 1, 1-トリクロロエタン	1リットルにつき0.0005ミリグラム
13	四塩化炭素	1リットルにつき0.0002ミリグラム
14	ジクロロメタン	1リットルにつき0.002ミリグラム
15	1, 2-ジクロロエタン	1リットルにつき0.0004ミリグラム
16	1, 1-ジクロロエチレン	1リットルにつき0.002ミリグラム
17	シス-1, 2-ジクロロエチレン	1リットルにつき0.004ミリグラム
18	1, 1, 2-トリクロロエタン	1リットルにつき0.0006ミリグラム
19	1, 3-ジクロロプロペン	1リットルにつき0.0002ミリグラム
20	チウラム	1リットルにつき0.0006ミリグラム
21	シマジン	1リットルにつき0.0003ミリグラム
22	チオベンカルブ	1リットルにつき0.002ミリグラム
23	ベンゼン	1リットルにつき0.001ミリグラム
24	セレン及びその化合物	1リットルにつきセレン0.002ミリグラム

■別表2 地下水の水質汚濁に係る環境基準

	項 目	基準値
1	ふっ素	1リットルにつき0.8ミリグラム以下
2	ほう素	1リットルにつき1ミリグラム以下

熊本地域硝酸性窒素削減計画の概要（平成17年(2005年)3月策定）

1 計画策定の背景

- (1) 一部の地域で、汚染が顕著化している。
- (2) 各種対策の体系化と総合化を図り、計画的かつ効果的な対策が必要
- (3) 対象市町村（熊本市、菊池市、宇土市、城南町、富合町、植木町、大津町、菊陽町、合志町、西合志町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町）

2 地下水汚染の原因

- (1) 野菜、果樹等へ施肥された窒素肥料の溶脱
- (2) 家畜ふん尿及び生活排水の不適切な処理

3 計画の目的

硝酸性窒素による地下水汚染を防止し、住民の健康の保護と生活環境の保全を図る。

4 計画の期間

- (1) 平成17年度(2005年度)～36年度(2024年度)（20年間）
- (2) 平成17年度～26年度を初期段階として設定（平成26年度に更なる対策を検討）

5 現状と目標

- (1) 現状（平成15年度）の硝酸性窒素濃度に応じて2つの目標水質を設定
- (2) 現在の硝酸性窒素濃度に応じて3つの濃度レベルに分け、それぞれ初期目標と最終目標を設定（調査は水質汚濁防止法に基づく水質測定計画による。）

なお、目標水質は、地下水の水質汚濁に係る環境基準（10mg/L以下）を参考とした。

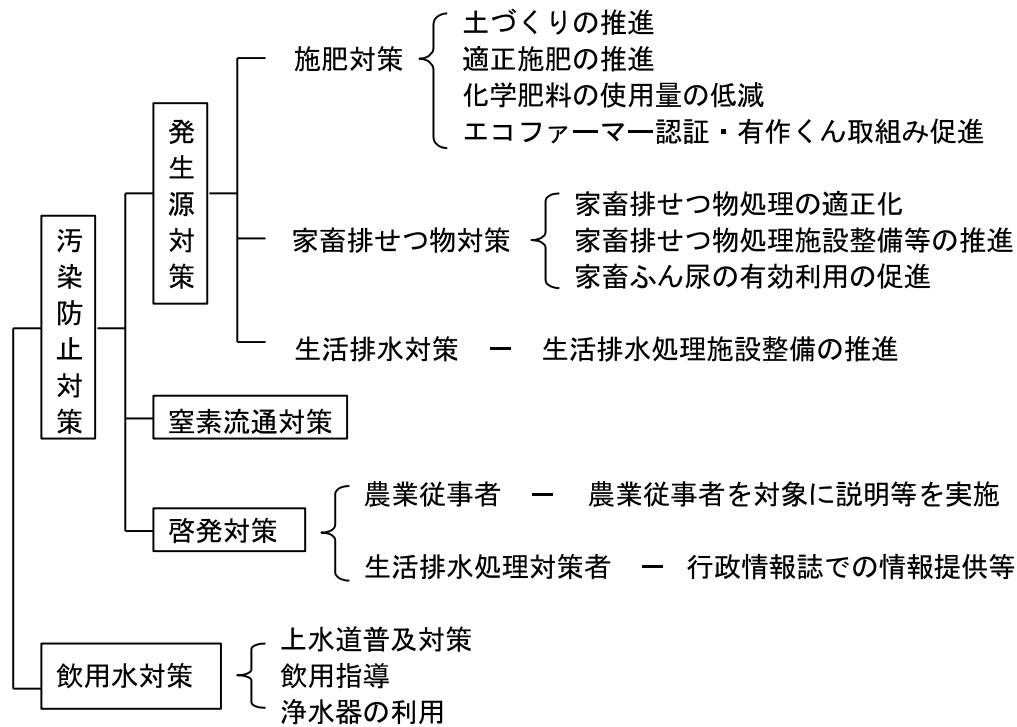
目標水質

	達成水質	管理水質
設定	達成されるべき濃度	維持されることが望ましい濃度
目標値	10mg/L以下	5mg/L以下
対象	10mg/Lを超過する地下水	5mg/Lを超え、10mg/L以下の地下水

目標

硝酸性窒素濃度	初期目標 (平成26年度)	最終目標 (平成36年度)
10mg/L超過	達成水質値を超過した井戸の割合が5%以下となること	全ての指標井戸で達成水質値を満足すること
5mg/L超過～ 10mg/L以下	管理水質値を超過した井戸の割合が10%以下となること	全ての指標井戸で管理水質値を満足すること
5mg/L以下	現状濃度を維持又は現状濃度よりも低下すること	

6 具体的対策の概要



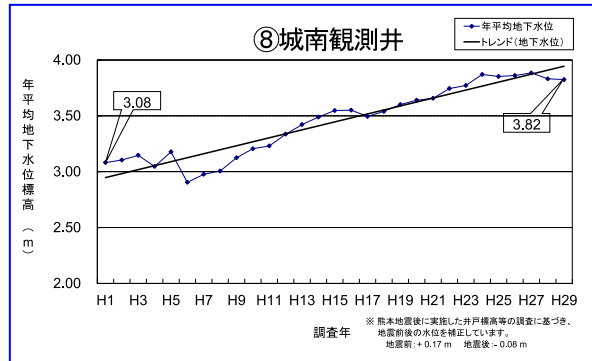
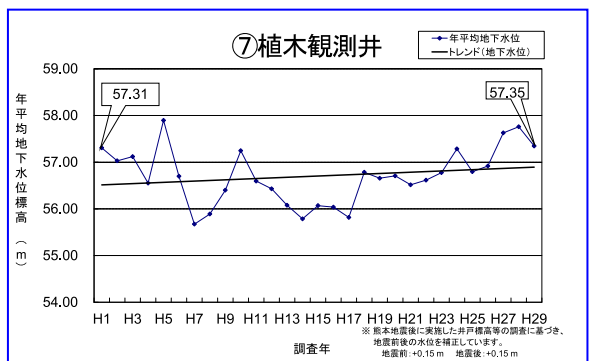
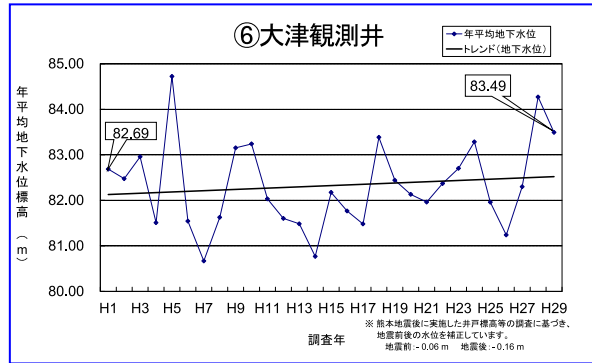
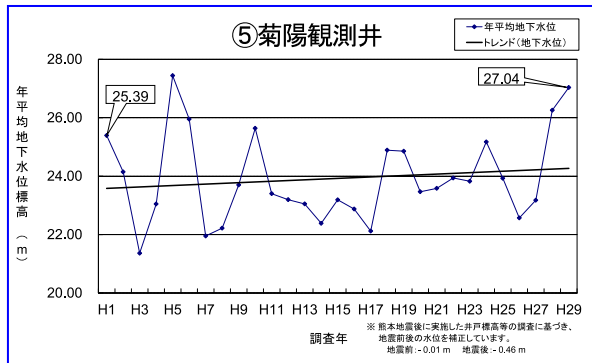
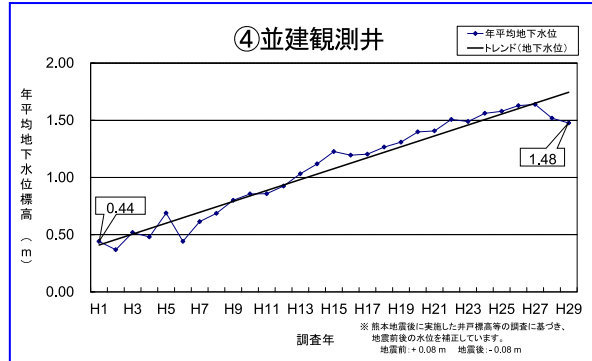
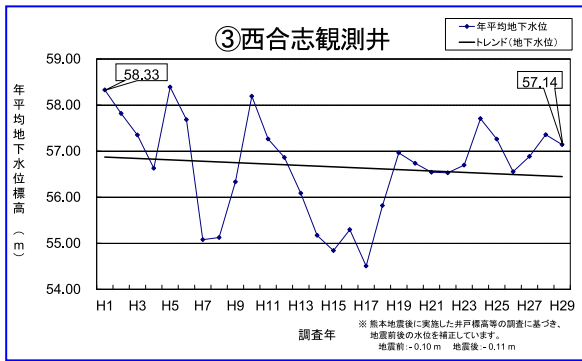
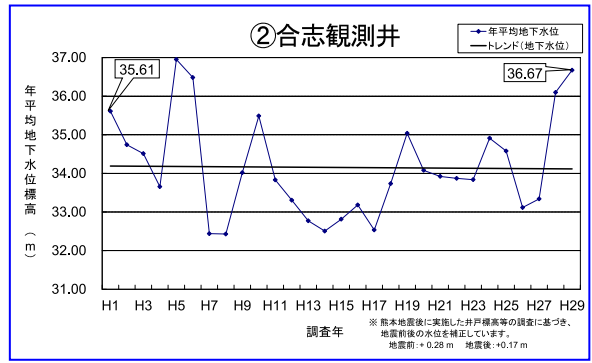
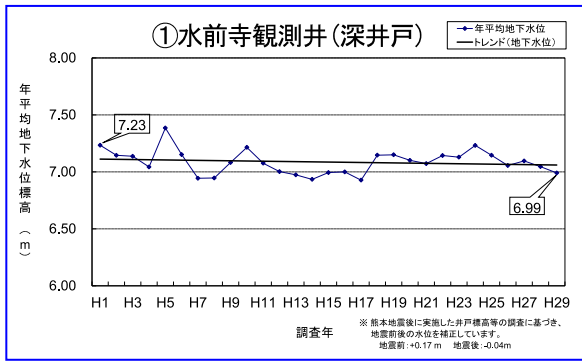
7 計画の推進

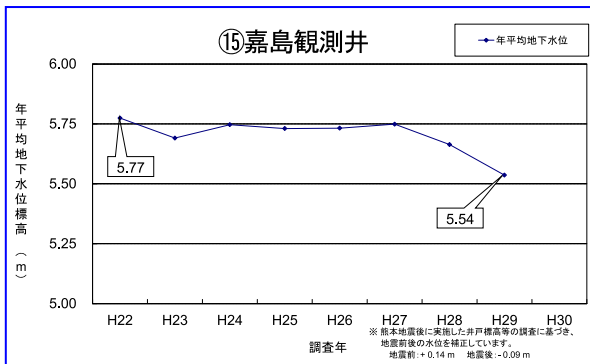
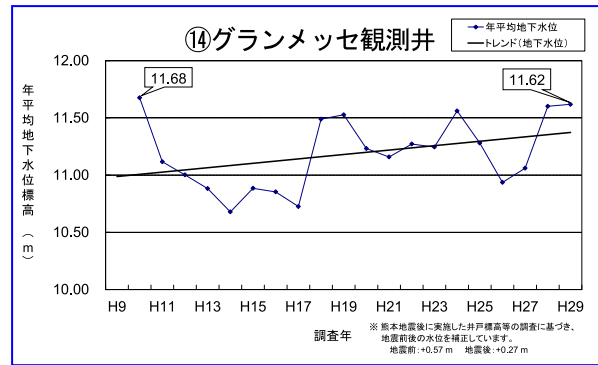
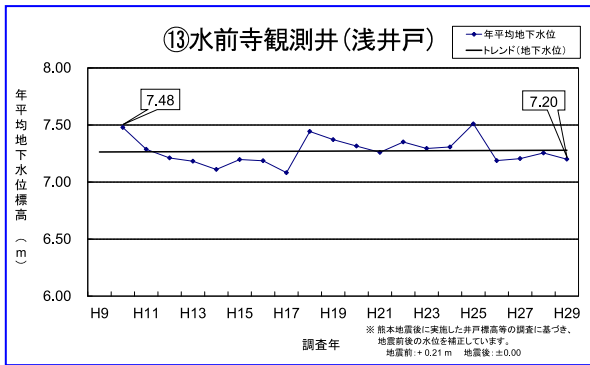
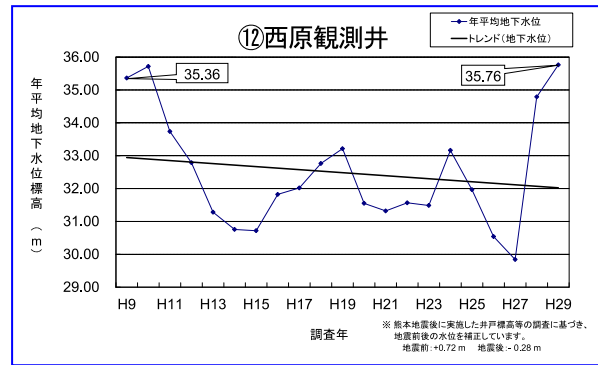
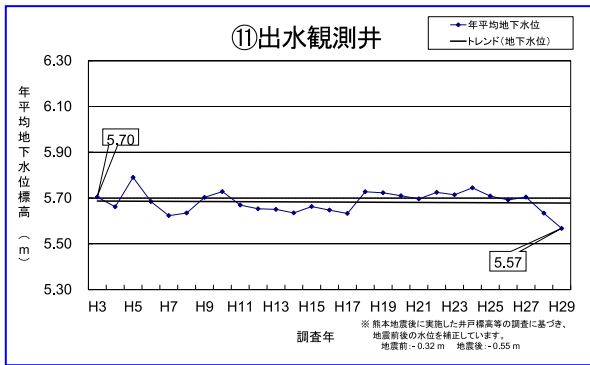
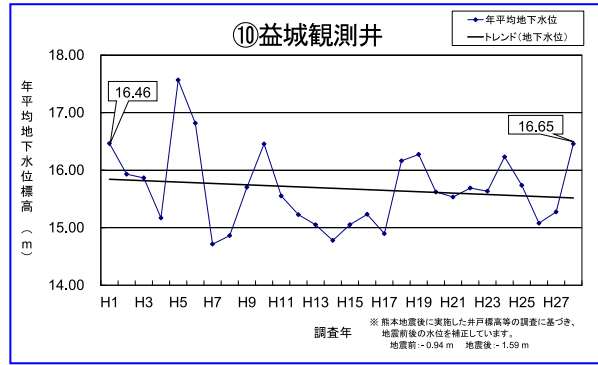
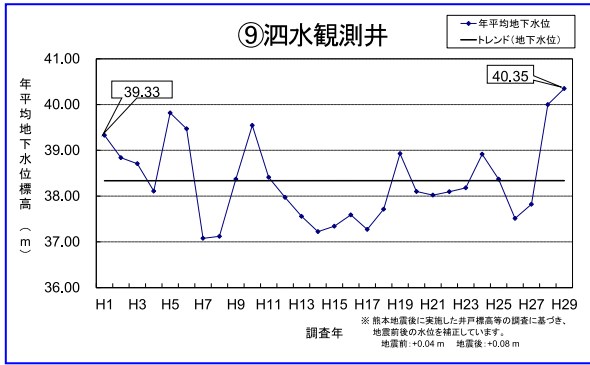
- (1) 県、市町村、J A、農業従事者及び生活排水処理対象者が協力し、それぞれの役割に応じ、連携を図りながら各汚染源に対する削減対策の推進
- (2) 「硝酸性窒素汚染対策連絡会議」（県）における庁内関係各課との連携・調整、対策の推進
- (3) さらに、県・市町村・J Aの連携・協力による横断的な対策の推進

8 計画の進行管理

この計画に基づく各種対策の実施状況とその効果を定期的に把握・評価し、進行管理を行う。各種対策の実施状況とその効果は、各地域振興局にて一旦取りまとめた後、本庁中心の「硝酸性窒素汚染対策連絡会議」において取りまとめる。

参考資料 熊本地域の地下水位の状況





策定：平成31年（2019年）3月^{※1}

熊本県、熊本市、菊池市、宇土市、合志市、大津町、菊陽町、西原村、
御船町、嘉島町、益城町、甲佐町

※1 この計画は熊本県及び熊本地域11市町村の地下水保全対策担当課長で
構成する「熊本地域地下水保全対策担当課長会議^{※2}」で検討し、熊本
県・11市町村の合意を経て策定した。

※2 熊本地域地下水保全対策担当課長会議

事務局：熊本県環境生活部 環境局 環境立県推進課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18-1

TEL：096-333-2272 FAX：096-383-0314
